

2021年(令和3年)度 学校評価 結果のまとめ

早春の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、今年度の「学校評価アンケート」の集計結果と分析をご報告申し上げます。本報告につきまして、学校評議員会及び学校関係者評価委員会において、委員の皆様からもご意見をいただき、『『コロナ禍でもできる』という湘南台中学校の姿勢に背中を押された』『コロナ後は小中の連携を』等のお褒めの言葉や、今年度の取り組み及び今後に向けて励ましの言葉をいただきました。この「結果まとめ」をこれからの学校運営に活かしてまいりたいと思っております。

1. アンケートの集計結果

- ※ 分析の各項目における「できている」の割合は「よくできている」と「だいたいできている」の合計です。
- ※ 平均達成度は、「5」を最高値とし、「わからない」という回答数を除いたもので計算しています。

【教育方針について】

◆ 生徒

	質 問	できている	わからない	平均達成度	昨年度平均
1	学校目標・学校スローガン・学年目標などを理解している	79.9%	4.7%	4.0	4.1

◆ 保護者

	質 問	できている	わからない	平均達成度	昨年度平均
1	学校は学校目標や教育方針を、保護者にもわかりやすく伝えている	73.1%	8.8%	3.9	4.1
2	学校の取り組みについて学校から情報が提供されている	74.3%	5.2%	3.9	4.1

本校の教育目標・教育方針につきましては、保護者の皆様には学校だよりや学校ホームページなどでお伝えしております。教育目標・学校スローガンを理解していると回答した生徒は80%近くと、浸透してきていると考えております。一方で、保護者の皆様につきましては、さらにご理解をいただけるよう努力が必要と考えております。今後も皆様にさらなるご理解をいただけるよう、本校の教育目標を踏まえ、「目指す生徒像」を明確にわかりやすく伝えてまいります。

これからも教育目標の実現を目指して、コロナ禍においても学びを止めることなく、日々の授業や部活動、学校行事を充実させてまいります。そして、今まで以上に笑顔で心のこもった挨拶と感謝の言葉があふれる学校を目指してまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。



【授業・評価について】

◆ 生徒

	質 問	できている	わからない	平均達成度	昨年度平均
2	授業はわかりやすい	79.7%	2.2%	4.0	4.1
3	先生は自分の学力や努力を適切に評価してくれる	80.9%	10.7%	4.2	4.3
4	先生は授業で質問や意見を聞いてくれる	87.8%	7.1%	4.4	4.5
5	授業で自分の考えをまとめたり発表したりする機会がある	74.8%	4.9%	4.0	4.2
6	授業で生徒同士がお互いに考えを聞き合ったり協力したりして学習する機会がある	80.9%	3.2%	4.3	4.3
7	先生は教え方をいろいろ工夫してくれている	84.2%	8.9%	4.3	4.3

◆ 保護者

	質 問	できている	わからない	平均達成度	昨年度平均
3	先生は子どもの質問や考えをよく聞いてくれる	70.7%	12.4%	3.9	4.1
4	先生は子どもの学力や努力を適切に評価している	65.5%	10.4%	3.8	4.0

授業・評価については、生徒・保護者ともに「できている」の割合が、昨年度に比べて下がった項目が多いという結果になりました。本校では、各教員が教材・教具を工夫したり、生徒同士の学び合い活動を重視したりしながら、生徒主体のわかりやすい授業の実践に努めています。ICTを活用した授業も多くの教科で展開されています。「授業で自分の考えをまとめたり発表したりする機会がある」の項目が昨年度に比べて下がっていますが、新型コロナウイルス感染防止対策として、授業中の声を出しての発表の機会を制限したことによるものと考えられます。また、「先生は子どもの学力や努力を適切に評価している」の項目につきましては、生徒の80.9%に対して、保護者は65.5%という結果になりました。この結果から学習評価について、生徒、保護者と教師の間の意思疎通が必ずしも十分ではないことがわかります。学習評価の受け止め方について、このような傾向が生じることはある程度やむを得ないと考えますが、今後の課題として、授業や三者面談、教育課程説明会等を通して、より丁寧に説明してまいります。

【生徒指導・道徳・人間関係について】

◆ 生徒

	質 問	できている	わからない	平均達成度	昨年度平均
8	先生は考えや意見を聞いてくれる	86.4%	8.3%	4.4	4.4
9	先生はいろいろな悩みや相談に応じてくれる	73.0%	20.3%	4.3	4.4
10	命の大切さや集団のルール、マナーについて学べる	87.8%	6.3%	4.4	4.4
11	先生はいじめや暴力がなくなるように取り組んでいる	73.8%	19.9%	4.4	4.3
12	生徒は学校生活の決まりを全体的に守っている	70.0%	6.3%	3.9	4.0



◆ 保護者

	質 問	できている	わからない	平均達成度	昨年度平均
5	学校の決まりなどの生活の指導方針に共感できる	71.9%	9.2%	3.9	4.1
6	学校はいじめや暴力のない学校作りに取り組んでいる	70.3%	18.9%	4.0	4.2
7	学校は命の大切さや集団のルール・マナーについて指導を行っている	74.3%	14.5%	4.0	4.2
8	学校は子どもの悩みや課題に対して対応している	60.2%	15.7%	3.7	4.0

生徒指導・道徳・人間関係の項目では、生徒については昨年度と同様に比較的高い結果となりました。その中で、保護者の「学校は子どもの悩みや課題に対応している」は60%と低い評価となり、大きな課題であると考えます。本校では、日々の生徒の活動の様子を見守るとともに、年間計画の中に、学校生活アンケートや教育相談週間を設け、生徒の声に耳をかたむけて生徒の様子の把握に努めてきました。これからも今まで以上に一人ひとりに寄り添い、個々の状況を踏まえた丁寧な対応に努めてまいります。ご家庭でも何かお気づきの点がございましたら、学級担任や学年職員にご相談ください。また、カウンセラー2名がそれぞれ週1回ずつ本校に勤務していますので、心配ごとなどございましたらご活用ください。

いじめについては、アンケートの実施や教育相談期間を活用して情報収集し、その実態を把握することで、未然防止や早期発見、迅速な対応に努めています。トラブルなどがあつた場合には、話を丁寧に聞くとともに、「いじめは絶対に許さない」という姿勢で取り組んでいます。今後も道徳の授業や教育活動全般を通して、生徒の思いやりの心を育て、温かな人間関係の構築への支援をしてまいります。

文部科学省をはじめ、各関係機関から毎年のようにネットトラブルへの注意喚起がなされているところですが、中高生のSNSによるトラブルは年々増加しています。学校においても「サイバー犯罪防止教室」の実施など、メディアからの情報や機能を理解し規範意識を育てる機会を設け、SNSの使用についての指導をしておりますが、やはりご家庭との連携協力が不可欠であると考えます。今後もご家庭におかれましては、お子様と話す機会を十分にとっていただき、発達段階に応じた使用のルールづくりと一緒に考え、より良いネット環境づくりに向けて、ご指導をよろしくお願ひします。

【進路・将来について】

◆ 生徒

	質 問	できている	わからない	平均達成度	昨年度平均
13	卒業後の進路について情報を知らせてくれる	80.7%	10.1%	4.4	4.3
14	将来の進路や生き方について考えるきっかけをつくってくれる	75.7%	12.6%	4.2	4.1

◆ 保護者

	質 問	できている	わからない	平均達成度	昨年度平均
9	子どもの将来の進路や職業などについて適切な指導がされている	61.4%	17.3%	3.8	3.9
10	進路に関して家庭への連絡や適切な情報提供が行われている	63.5%	12.4%	3.8	4.0

本校では「進路学習」を生き方学習ととらえ、生徒の職業観・勤労観を育成するとともに、3年間を見通した取り組みとなるよう計画的に行っています。具体的には、1年次では地域と連携した職業講演会「ようこそ先輩」を、それを受けて2年次では学校施設を利用した職業体験を計画し、3年次には具体的な進路決定に向けた取り組みをしています。今年度も2年次の職業体験については、昨年度に引き続き関係諸機関や企業による本校での体験活動を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で計画を見直し、「自分の適性を知ろう」をテーマに、卒業後の進路を考える学習を行いました。また、将来の進路を考える際の資料として1・2年生にも進路通信を配布するとともに、学校ホームページにおいても公開しています。今後さらに、3年間を見通した計画のもと、生徒には総合的な学習の時間や学級活動を利用し、保護者の皆様には三者面談や学校ホームページ等を通じて必要な情報のわかりやすい提供に努めてまいります。



【生徒会活動について】

◆ 生徒

	質 問	できている	わからない	平均達成度	昨年度平均
15	学校行事は楽しい	81.1%	5.5%	4.3	4.3
16	生徒会活動や委員会活動が活発に行われている	80.5%	10.1%	4.3	4.3
17	部活動に楽しく参加している	69.4%	21.3%	4.4	4.4
18	学校は行事等の実施の有無や方法について安全を確保しながら感染対策を講じて適切に計画している	87.0%	6.3%	4.4	4.3



◆ 保護者

	質 問	できている	わからない	平均達成度	昨年度平均
11	子どもは行事を楽しみにし、積極的に参加している	77.9%	4.0%	4.1	4.2
12	生徒会活動が活発である	49.0%	39.8%	3.9	4.0
13	子どもは積極的に部活動に取り組んでいる	75.9%	16.9%	4.4	4.4
14	学校は行事等の実施の有無や方法について安全を確保しながら感染対策を講じて適切に計画している	79.1%	5.6%	4.1	4.3



生徒会活動について、生徒は昨年度とほぼ同様の結果となりましたが、保護者の「生徒会活動が活発である」が49%という結果が気になります。これは、昨年度に続き新型コロナウイルス感染拡大防止のために行事の中止や規模縮小に伴い子どもたちの活動する姿をご覧いただけなかったことが影響していると思われます。感染状況が日々変化していく中、本校では冷静に判断しながら感染対策等十分に配慮し、コロナ禍でもできることを考え、工夫して実施してまいりました。部活動については、大会やコンクール等の活動が制限され、生徒たちにとっては十分な取り組みができなかった1年間でしたが、日常の学校生活では、「コロナでもできる」、「コロナの今だからこそできる」という考えのもと、生徒会活動についてもオンラインで生徒総会を行うなど、ICTの活用をおこないました。今後も部活動や生徒会活動を通して、仲間との協力のもと、団結する強さ、達成感を学び、生徒の自己肯定感を高める取り組みに努めてまいります。

【施設・設備について】

◆ 生徒

	質 問	できている	わからない	平均達成度	昨年度平均
19	学校内では清掃や整頓がきちんと行われている	86.2%	3.4%	4.2	4.2
20	地震や火事の場合の避難の方法が周知されている	66.5%	12.6%	4.0	4.0
21	学校では新型コロナウイルス感染症対策が適切に行われている	87.27%	5.1%	4.3	4.3



◆ 保護者

	質 問	できている	わからない	平均達成度	昨年度平均
15	学校は生徒の安全確保について取り組んでいる	72.3%	16.9%	4.1	4.2
16	生徒、家庭に関する個人情報を守られている	83.9%	11.2%	4.2	4.4
17	学校の清掃美化や環境整備がきちんとなされている	82.7%	12.9%	4.2	4.2
18	学校では新型コロナウイルス感染症対策が適切に行われている	78.7%	10.4%	4.1	4.2

本校の生徒は、毎日の清掃に一所懸命取り組んでおり、校内の美化に対する生徒の意識の高さが評価となって表れていると考えます。非常時の避難方法については、コロナ禍における訓練のあり方について検討するとともに、その意義や方法も含めて生徒にしっかりと理解させるよう努めてまいります。

【学校・家庭・地域のコミュニケーションについて】

◆ 保護者

	質 問	できている	わからない	平均達成度	昨年度平均
19	学校からの保護者への連絡や文書はわかりやすく適切である	84.3%	2.8%	4.0	4.2
20	先生の電話の対応やあいさつは適切である	90.4%	3.6%	4.4	4.5
21	学校は新型コロナウイルス感染症予防対策を優先して、保護者が授業や学校行事等を参観する機会の有無を適切に計画している	70.3%	10.8%	4.0	4.2
22	1~21の項目の中で、特に重要と思われるものを3つ選んでください 先生は子どもの学力や努力を適切に評価している（88票） 学校は子どもの悩みや課題に対して対応している（86票） 先生は子どもの質問や考えをよく聞いてくれる（80票）				

ご家庭や地域との連携、そのための情報発信は非常に重要と考えています。学校からの連絡や文書等の情報発信については、昨年度に比べ、達成度が低くなっています。コロナ禍だからこそ、わかりやすく迅速に情報をお伝えする必要があります。今後も学校だよりや学年だより、学校ホームページなどを活用しながら、適切な情報発信をおこなうように努めます。



「特に重要と思われる項目」につきましては、ここ数年大きく内容は変わらない結果となっています。これからも保護者の皆様からのご意見を参考に、生徒が楽しく通うことができる学校、保護者の皆様が安心して通わせることができる学校をめざし、その環境づくりに取り組んでまいります。



【保護者自由記述から】

自由記述ではお褒めの言葉、激励の言葉をいただき感謝申し上げます。一方、学習評価、生徒への対応、服装、部活動指導、ご家庭への情報発信や連絡、そして新型コロナ感染拡大防止に関するご指摘、ご意見もいただいております。頂戴したご意見に関しましては、真摯に受け止め、改善に努めてまいります。

<評価について>

今年度から新しい学習指導要領が全面実施され、評価の観点が「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に変わりました。その評価方法につきましては、各教科を軸にして学校全体で研修、研究を行いました。評価に関しては、それぞれの評価項目で評価を積み重ねてまいりましたが、今後もより一層、評価方法を各教科で研究、検討し、生徒の学びの意欲や学力の向上につながる評価になるように取り組んでまいりたいと思います。

<生徒への対応について>

日頃から生徒と積極的にふれあい、きめ細かい観察や面談を通して生徒理解につなげております。それをもとに学年職員、教科担任、部活動顧問、養護教諭と情報を共有し、生徒の悩みや課題等に適切に対応できるように心がけてまいりましたが、今後より一層の生徒理解に努めてまいります。また、必要に応じてスクールカウンセラーや関係諸機関と連携し、生徒に寄り添いながら、一緒に取り組んでいく体制をさらに整えていくように努めます。そして、生徒を指導する場面では、生徒の人権に配慮した言動を心がけるとともに、家庭との連携を密に取りながら、丁寧に対応するよう努めます。

<部活動指導について>

部活動については、藤沢市のガイドラインを踏まえた活動ができるよう工夫を凝らしながら活動しています。部活動の指導に関しては様々なご意見をいただきましたが、練習の目的や指導の内容をわかりやすく説明し、感染対策をはじめ、安全に十分配慮した活動になるように努めます。また、生徒のコミュニケーションを大切にしながら、信頼関係を築いていけるように努めるとともに、活動予定については、早めの計画と連絡を心がけてまいります。

<新型コロナウイルス感染症対応について>

昨年度から新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、それ以前とは異なる対応をせざるを得ない場面が多々ありました。今後もその時々状況を冷静に判断しながら、学校行事や授業参観等の実施の有無や実施方法について決定してまいり所存です。感染状況により、予定が急に変更になる可能性もあるかと思っております。変更の連絡については、できる限り速やかにお知らせいたしますので、ご理解くださいますようお願いいたします。また、濃厚接触等のため、登校することができない生徒につきましては、自宅でのリモート学習を提供するなど、「コロナを理由に学びをとめることはしない」という共通理解のもと教育活動を進めてまいりました。感染に関わる対応については、個人情報や人権に配慮し、市内で統一した対応をとっております。この点に関しまして、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。



2. 次年度の取り組みについて

保護者、教職員にとっての共通の願い、それは「子どもの健やかな成長」です。学校評価はこの願いを実現するための一つの手段であると考えます。学校評価を実施することによって明らかになる本校の今年度の教育活動全般における成果や課題を共有し、家庭、地域、学校が互いに協力・連携して不十分なところを補い、支え合うことが大切です。

今年度のご心配、ご迷惑をおかけすることが多く、当然のことながら厳しいお叱りの言葉をいただきました。その一方で本校の「生徒を主語」にして取り組んだ教育活動について肯定的なご意見や建設的なご提案をいただいた時は、学校と家庭との絆を強く感じ元気をいただくとともに、次年度への励みとなりました。ここで頂戴しました貴重なご意見を参考に、次年度の教育計画や重点的な取り組み等に反映していきます。同時に、教職員のコンプライアンス意識の向上に努めてまいります。今後とも本校のよき理解者であり、また協力者となっていただきますよう、お願いいたします。

1. 学習指導の充実

生徒の学習意欲を高め、どの生徒にもわかりやすい授業の工夫・改善により一層努めます

- ・生徒一人ひとりの授業への取り組みを丁寧に見取り、興味・関心を引き出す工夫を行い、より「分かる授業」への改善を推進します。
- ・学習評価の研究を深め、生徒の意欲を高める評価方法の工夫と改善に努めます。

2. 生徒の主体的な活動への積極的な支援

学校の教育活動全般において、生徒の自主的な取り組みを推進します

- ・コロナ禍での「新しい生活様式」を意識させるとともに、生徒会を中心とした生徒の積極的な取り組みを支援します。

3. 生徒理解に向けた取り組みの充実

生徒の悩みや思いに丁寧に向き合い、一層の生徒理解に努めます

- ・日常生活の観察やアンケート、相談活動等を活用し、スクールカウンセラーや関係機関と連携し、適切な対応に努めます。